



けんしん受診&記録でポイントも



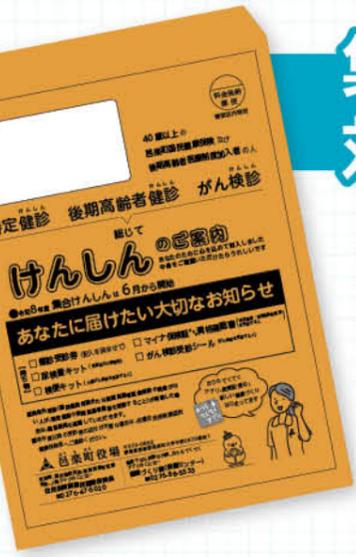
集合けんしんの案内封筒を 対象者に送付します

4月上旬発送



特定健診・後期高齢者健診やがん検診の案内ガイドの他、受診票やがん検診の受診シールをセットにした【集合けんしんの案内封筒】を対象者に送付します。4月下旬までには届く予定です。

対象者…40歳以上の町国保加入者と後期高齢者医療制度加入者
ガイドには、各種健(検)診の対象者や料金の他、申込方法や健(検)診を受ける際の注意事項などを詳しく書いています。



健康診査

一年に一度は

特定健診、後期高齢者健診、がん検診など 体のチェックを

町では皆さんの健康維持・増進を目的としたさまざまな健康診査『けんしん』を毎年実施しています。さまざまある『けんしん』メニューの一部を一定の期間中に保健センターを会場にして実施するのが『集合けんしん』です。令和8年度の『集合けんしん』が6月1日㊿から始まります。

詳しいことは、全て封筒の中に。



自身に必要な内容(情報)を
しっかりと確認ください
その他いろいろ……

令和8年度 集合けんしん日程表

混雑緩和のため調整をしています。原則、対象地区での受診をお願いしていますが、対象地区以外の日程で受診していただいても構いません。

実施日	対象地区	実施日	対象地区
6/1㊿	12区鶉上・13区鶉下	7/13㊿	2区前谷東原・6区十三坊塚(1~25班)
6/4㊿	33区新中野	7/21㊿	1区下中野・6区十三坊塚(26~57班)
6/8㊿	4区前原(1~50班)	7/22㊿	レディスデイ(男性はご遠慮ください)
6/9㊿	4区前原(51~70班)・14区鶉新田・15区光善寺	7/23㊿	17区秋妻・19区渋沼
6/10㊿	23区水立大黒	7/24㊿	29区本郷江原・30区古家十軒・31区大谷端宿赤東
6/15㊿	10区大根村琵琶首・11区谷中蛭沼	7/26㊿	対象地区なし
6/16㊿	25区馬場大林・26区寺中	7/27㊿	7区上下西宿・8区前瀬戸宿・9区千原田向地
6/25㊿	27区十三軒・28区店高原	7/28㊿	24区西ノ根宮内中島
6/26㊿	3区横町化楽・5区天王元宿	7/29㊿	22区坪谷・32区開拓
6/27㊿	対象地区なし	7/30㊿	16区藤川・18区一本木
		7/31㊿	20区石打・21区住谷崎・34区明野

毎年この時期に健康診査「けんしん」

町では、皆さんの健康維持・増進を目的として、さまざまな健康診査(以下「けんしん」)を毎年実施しています。このうち、いくつかの「けんしん」を一定期間、保健センターを会場にまとめて実施するのが「集合けんしん」です。

始まる「集合けんしん」

ことしの集合けんしんは、6月1日㊿から始まります。毎年この時期になると、町では集合けんしんを行っていきます。特定健診や後期高齢者健診に加え、がん検診も同日・同会場で行うことができます。案内が届いて「ことしもこの季節か」と思う人もいれば、忙しさの中で、そのまま封筒を閉じた人もいるかもしれ

今を知るための機会

けんしんは、「何かあった人のための場」ではありません。今の自分を知るための、ごく日常的な機会です。特定健診や後期高齢者健診では、血圧や血液検査などを通して体の状態を確認します。「今はこの数値なんだ」「少し気を付

ません。どちらも、特別な反応ではありません。

症状がない今だから

けんしんは、体調が悪くなつてから受けるものではなく、何も感じていないときにこそ、今の体の状態を確認するためのものです。自覚症状がなくても、体の中では変化が起きていることがあります。年に一度、立ち止まって体の状態を確かめることには意味があります。

がん検診も、同じ機会に

集合けんしんは「がん検診」も同じ日(期間)に、同じ会場で行われる機会です。忙しい人でも、少しでも受けやすくなるよう工夫しています。せっかく会場に足を運ぶなら、ことしは「がん検診」についても、少しだけ考えてみませんか。

がん検診は、特定健診とは少し性格の違う検診です。8ページからは、その話です。



封筒が届かない人は 役場住民保険課 TEL.47-5020 へ

自分らしくがん検診

健康診査が「今」を見るものだとしたら、 がん検診は「見えない変化」を 見つける検査です。



がんは、痛みや不調が出る前から、体の中で静かに進行することがあります。

だから、がん検診は「具合が悪くなってから受ける検査」ではありません。

何も症状がないときにこそ受けることで、早い段階で見つかり、治療の選択肢が広がる可能性があります。

健康診査と、がん検診。似ているようで、役割は違います。それでも、がん検診を受けていない人は少なくありません。これは邑楽町だけの話ではな

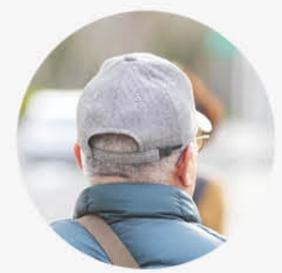
く、多くの自治体で同じ状況があります。理由は、一つではありません。

忙しかった。
時間が合わなかった。
面倒に感じた。
どうせ大丈夫だと思った。
去年と同じだと思った。

……どれも、特別な理由ではありません。多くの人が、同じような気持ちで立ち止まり、そのまま一年が過ぎていきます。

「受けていない自分」を責める必要はありません。多くの人が、同じ場所に立っています。

健康だと思っていた 「今回だけ」のつもりで受けた検診で見つかったこと



町内在住・60代男性
令和6年度検診で
胃がんが見つかった

検診の案内は、毎年4月に届いていました。忙しかったこともあり、「ことしはいいかな」と思って、封筒をそのままにしまった年もあります。
体調が悪かったわけではありません。仕事も普段どおり。痛みや不調もなく、自分では健康だと思っていました。
たまたま時間ができて、「今回だけ受けてみようか」と申し込んだのが、きっかけでした。

結果通知を見たときは正直、信じられませんでした。「何かの間違いではないか」そう思ったほどです。
でも、もしあのとき受けていなかったら、今はどうなっていたのだろう……そう考えることがあります。
検診は、何かあったから受けるものではなく、何も無いと思っているときに受けるものだと、今は感じています。

受けなかった理由は、人それぞれ。 特別な事情がなくても、 日々の生活の中で、 検診は後回しになりがちです。



仕事、家事、育児、介護。
目の前のことで精一杯な中で、自分の体のことは、つい後回しになります。

「今は元気だから大丈夫」「そのうち受ければいい」そう思う気持ちも、自然なものです。誰かを責めたいわけではありません。「受けなかったから悪い」と言いたいわけでもありません。

ただ、自分がなぜ受けていないのか。その理由を、一度だけ、言葉にしてみてください。そこから先の考え方は、人によって違っていると思うのです。

がん検診は、

全てを受けなければいけないものではありません。

※がんの進行や治療の効果には個人差があります。



検診の役割は、自覚症状が出る前の、まだ小さながんを見つけることにあります。多くのがんは、ある程度進行するまで、痛みや不調といった症状がほとんど現れません。

そのため「何も症状がないから大丈夫」と思っている間にも、がんが少しずつ進んでいくことがあります。

一方で、検診によって早い段階で見つかったがんは、治療の選択肢が多く、体への負担が比較的少ない場合が多いことが分かっています。

これは「がんにならないため」ではなく、「がんになつたとしても、生活を大きく変えずに済む可能性を高める」という考え方です。

9ページで紹介した男性も、こう話しています。「症状がなかったから、検診を受けていなければ気付かなかった」

がん検診は、特別な人のためのもではなく、「今は元気だと感じている人ほど、意味を持つ検診」なのです。

がん検診というと、「がんが見つかったら怖い」「できれば受けたくない」と感じる人も少なくありません。しかし、がん検診の本当の目的は、がんを見つけることそのものではありません。

「どれを受ければいいのか分からない」「そう感じる人は少なくありません。」

がん検診には種類があり、検査方法や受診間隔もさまざまです。迷うのは、ごく自然なことです。

町が実施しているがん検診は、国が示す指針や医学的な知見を踏まえ、「多くの人にとって、受ける意味がある」と考えられる検診を国の指針に基づき整理したものです。

一方で、全ての検診が全ての人に同じ効果をもたらすわけではありません。

そのため、町の検診は「必要の人に、必要なタイミングで」受けてもらうことを大切にしています。

- ◆ 大切なのは、
- ◆ 今の自分の年齢
- ◆ これまでの受診状況
- ◆ 気になっている体のことを一度整理し、自分に合った検診を選ぶことです。

そのために、町では毎年「各種検診ガイド」を作成し、受診できる検診や受け方、注意点をまとめています。

まずは、ガイドを手に取って、自分が受けたい検診のページだけでも目を通してみてください。

がん検診は「毎年全て受けなければならぬもの」と思われがちですが、実際はそうではありません。年齢や性別、生活習慣、過去の受診歴などによって、受けるべき検診や受診の間隔は異なります。

Q&A 1

どの検診を受ければよいか分かりません。

まずは、各種検診ガイドをご確認ください。受診できる検診や注意点をまとめています。12ページで紹介しています。

Q&A 2

「がんが見つかるのが怖い」と感じてしまいます。

そう感じるのは自然なことです。ただ、早い段階で見つかることで、治療の選択肢が広がる場合があります。

Q&A 3

健康に気をつけている人も受ける必要はありますか？

はい。生活習慣や体調に関わらず、誰にでも起こり得る変化があるためです。検診は、その確認のための機会です。

Q&A 4

前回と同じ検診を受ければ大丈夫ですか？

必ずしもそうとは限りません。検診の内容や受け方は、毎年見直される場合があります。

Q&A 5

症状がないのに、がん検診を受ける意味はありますか？

あります。がんは、症状が出る前から進行することがあります。検診は、何も症状がない段階で変化に気付くための検査です。

がん検診について迷ったときは、まず、町から届く案内を確認してください。

受診シールには、その年に対象となる検診が記載されています。また、子宮頸がん検診や乳がん検診など、対象となる人へ個別にご案内している検診もあります。

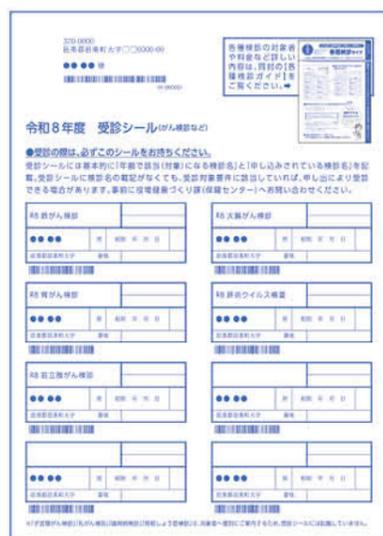
そして、4月には受診シールと一緒に「各種検診ガイド」を対象者へお届けします。検診の内容や受け方、考え方をまとめた冊子です。迷ったときに立ち返るための情報は、すでに用意されています。

がん検診を受けるとき、町から届く「受診シール」と「各種検診ガイド」は、どちらも大切な役割を持っています。

この2つを合わせて確認することで、受診できる検診や受け方を正しく知ることができます。

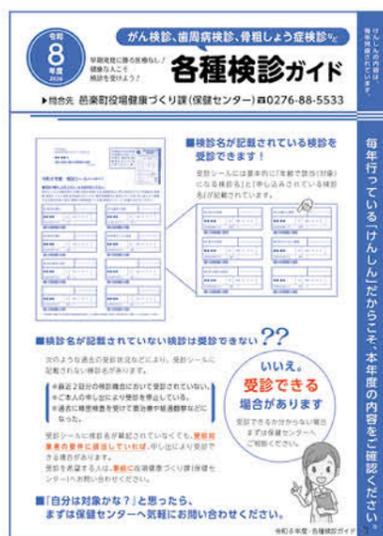
「受診シール」と「各種検診ガイド」

受診の前に、必ず確認してほしい2つのもの。



受診シールには、基本的に「年齢で該当(対象)になる検診名」と「申し込みされている検診名」が記載されています。

ただし、過去の受診状況や本人からの申し出などにより、対象であっても記載されない検診がある場合があります。「シールに書いていない=受けられない」というわけではありません。



各種検診ガイドには、
●受診できる検診の一覧
●年齢や条件
●受け方・注意点

など、受診前に知っておいてほしい情報をまとめています。受診シールに記載がない検診についても、ガイドを見ることで、自分が受診できるかどうかを確認することができます。

※対象者へ個別通知でご案内している検診(子宮頸がん検診、乳がん検診、歯周病検診、骨粗しょう症検診)は、受診シールには記載していません。詳しくは、各種検診ガイドをご確認ください。

ことしの検診は、 ことししかありません。 考える時間も、 検診の一部です。

がん検診は、誰かに言われて受けるものではありません。

不安を感じる人もいれば、忙しくて後回しにしている人もいます。自分はまだ大丈夫!と思う気持ちも、自然なことです。

それでも、検診には「その年、その時」にしかない意味があります。ことしの検診は、ことししか受けられません。迷ったら、まずはガイドを開いてみてください。

自分が受けられる検診や気になる検診だけで構いません。考えることも、選ぶことも、あなた自身の判断です。

町は、その判断に必要な情報を用意しています。がん検診を受けるかどうかは、自由です。受けたいという選択も、一つの判断です。

ただ、知らないまま選ぶことだけは、できるだけ避けてほしいのです。

町は、選ぶための情報を用意しています。押し付けるのではなく、判断の材料を届けたいと考えています。

知った上で、自分で決める
そのための特集でした。

検診について分からないことがあれば、保健センターへ気軽にご相談ください。

問 役場健康づくり課(保健センター) ☎ 88-5533



違い

語り

理由

選び方

確認

判断

違い

語り

理由

選び方

確認

判断